

第26回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成 25年 12月

応募者名： 三重県

事業の名称： 都市計画道路 秋葉山高向線
街路整備事業

実施都市名： 伊勢市

事業目的

伊勢市周辺の道路網は、東西の幹線である国道23号、県道鳥羽松阪線とこれらを南北に結ぶ主要な3本の道路から構成されています。しかし、東西の幹線の間には並行して近鉄山田線とJR参宮線が通っており、市域を南北に分断し、さらに平面交差により慢性的な交通渋滞を発生させる原因の一つとなっています。

この事業により、中心市街地や観光拠点などへのアクセス機能が向上することや、渋滞が減少することで域内交通の円滑化が図れ、地域が活性化することなどを期待しています。

事業概要

事業名称: 都市計画道路秋葉山高向線街路整備事業

路線名: 都市計画道路秋葉山高向線

事業箇所: 伊勢市御園町高向 ~ 伊勢市中島1丁目 地内

事業延長: L=753m

幅員: W=6.5(18.0)m

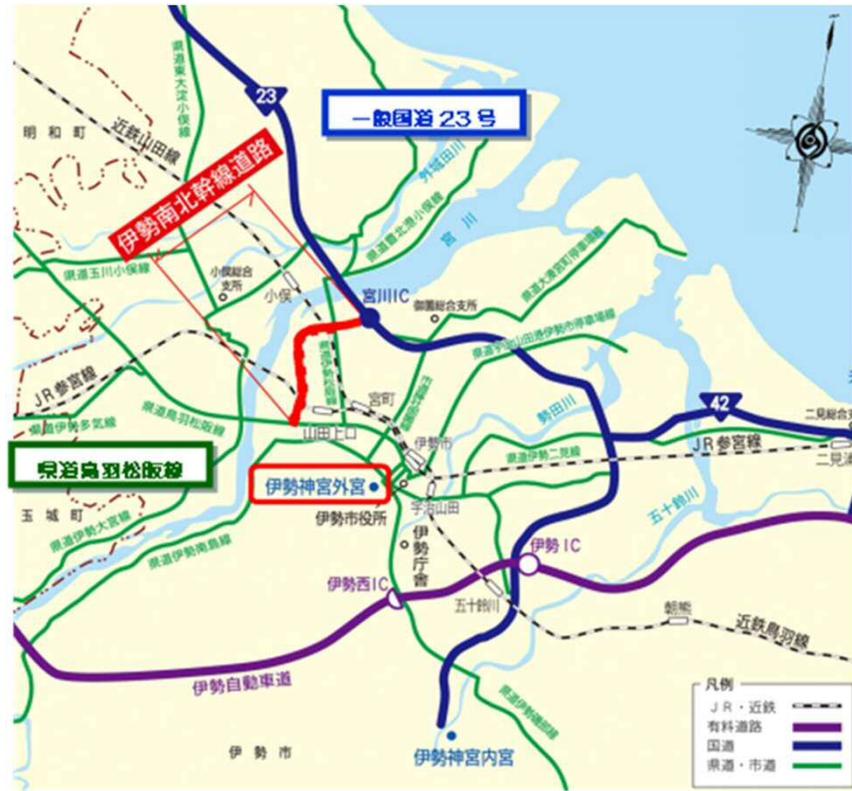
事業費: 約43億円

事業実施期間: 平成3年 ~ 平成24年

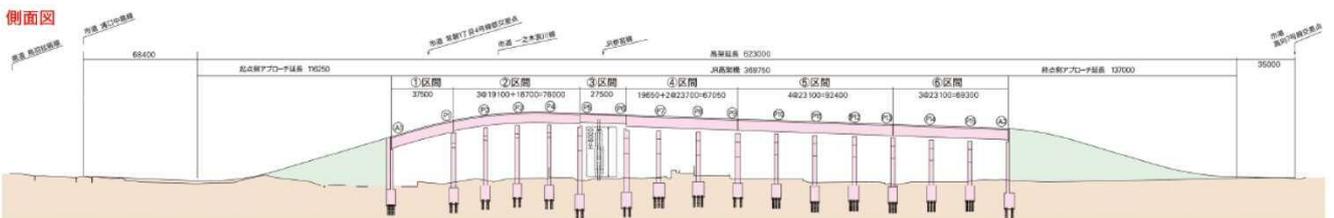
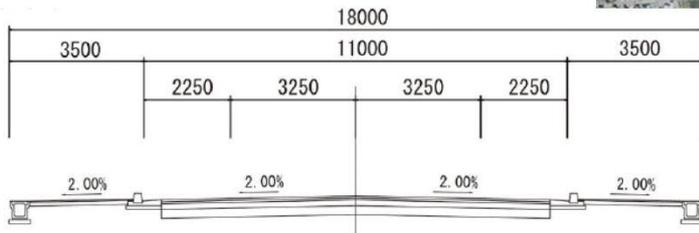
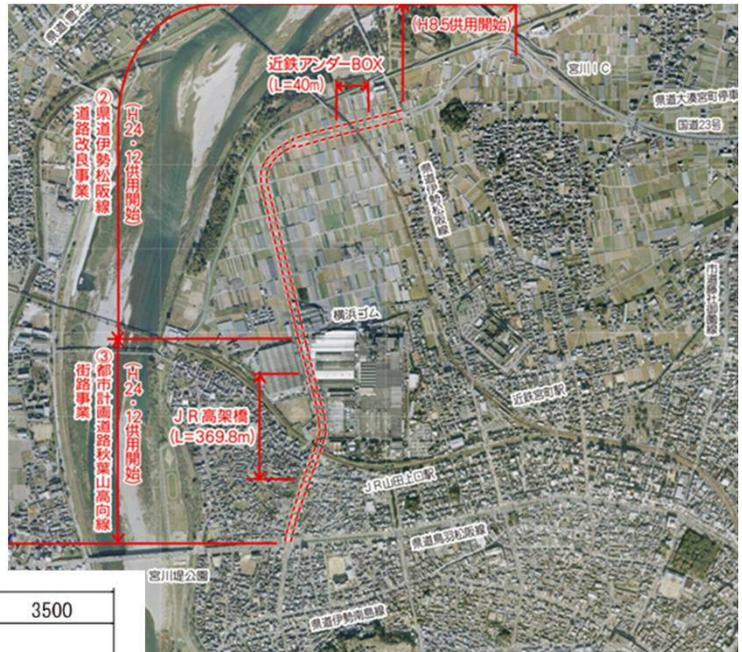
本事業は、伊勢南北幹線道路事業(L=約2.5km)のうち、市街地を通過する部分約750mの整備事業である。

道路構成の概要としては、JR高架橋(L=369.8m、W=6.5~14.5m)、起終点アプローチ(L=253.2m)、道路工L=130.0mとなっています。

事業位置図



全体図
(平面図・側面図・横断図)



秋葉山高向線の整備効果アピール資料



■ 近鉄山田線小俣15号踏切の状況

	遮断回数	遮断時間
7~8時	19回	約31分
8~9時	19回	約26分

○事業概要

事業名: 秋葉山高向線街路整備事業
 路線名: 秋葉山高向線
 事業箇所: 伊勢市御園町高向~中島1丁目
 事業延長: L=753m
 幅員: W=6.5(18.0)m
 総事業費: 約43億円
 事業期間: 平成3年から平成24年

○交通量調査結果

供用前 実測
 供用後 実測
 ・交通量の推移
 上記グラフの通り。

「整備効果」

* 慢性的な混雑の解消

朝夕の混雑時に踏切を起点とする渋滞が発生していましたが、鉄道と立体交差するバイパスとしたことにより、県道鳥羽松阪線と国道23号間の所要時間の短縮と渋滞発生軽減が図れました。

* 歩行者、自転車の安全性の向上

現道の伊勢松阪線は歩道がなく、大型車の通行により歩行者、自転車の安全性が低下していましたが、大型車の転換及び現道の交通量が低減され、安全性が向上しました。

「その他の事業効果」

* 災害時の輸送機能の確保

第1次緊急輸送路である国道23号から防災拠点である伊勢市役所、近鉄伊勢市駅や宮川堤公園等へのアクセス道路として、地震・台風等の非常災害時の輸送が確保されました。

事業前写真

供用前 撮影



供用前 撮影



事業後写真

平成24年12月撮影



平成24年12月撮影



平成24年12月撮影

